

科目名(副題)	開講年次(セメスター)	単位	担当者名
インターネットを思索する 人文社会科学の観点からインターネットについて考える	2～4年次秋学期 (4・6・8セメスター)	2	松浦 明宏
科目ナンバリング			
Z1-PHE-201-J			
授業概要・目的			
<p>私たちが現代という時代を生きていく上で、パソコンやスマートフォンが必要不可欠なコミュニケーション・ツールとなっていることは否定できません。これらのツールについては、技術的な意味での使い方を学ぶことももちろん大切ですが、それと同時に、それらを使うことによってどのような倫理的・精神的・社会的問題が生じているのかを知ることが重要です。その知識に基づいて、はじめてそれらのツールとのつきあい方を自分自身で適切に考えることができるようになるからです。</p> <p>そこで、この授業では、そのための基礎となる様々な問題・事例・思想的背景を学び、授業参加者との相互的な情報共有を行いながら、インターネット社会をどのように生きていくべきなのかを、より深く理解することを目指します。</p>			
学修到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットを通じてのコミュニケーションについて、新しいさまざまな問題に気づくことができる。</li> <li>ケータイ、スマートフォンという新しい道具とどのように付き合っていけばよいのかをより深く理解できるようになる。</li> </ul>			
授業方法			
<p>【面接授業】 オンライン（オンデマンド）授業：7回 対面授業：8回</p> <p>第1回はイントロダクションとガイダンスのための対面授業を行います。その後は偶数回に対面授業、奇数回にオンデマンド型オンライン授業を行います。アクティブラーニングとして効果がより高いとされる反転授業（反転学習）を行うため、各トピックについて事前学修の後、まず、各偶数回授業でそのトピックについて学生さんを中心とした討論を行います。そして、その次の奇数回授業でそのトピックについて教員が講義を行います。なお、各回冒頭15分～20分程度は前回授業のレスポンスペーパーへのコメントを行うため、討論または講義の時間は70分程度となる予定です。</p>			
活用される授業方法			
成績評価方法・基準			
レスポンスペーパー（50%） 討論への参加姿勢（50%）			
教科書・教材・参考文献 等			
<p>【教科書・教材】 教科書は使用しません。動画資料、pdf資料等の各種教材をMaNaBoを通じて配信します。</p> <p>【参考文献】 小此木啓吾『「ケータイ・ネット人間」の精神分析』（朝日文庫） 榎本博明『病的に自分が好きな人』（幻冬舎新書）</p>			
質問への対応(オフィスアワー等)			
レスポンス・ペーパー、討論の際の質問、MaNaBoの「Forum」の他、電子メール（Manaboを通じて教員宛メールを送ってください）により対応します。オフィスアワー（金曜5限 場所は事前にメールで相談して決めます）を利用して質問していただいても構いませんが、その場合は、電子メールで予約してください。			
履修者へのコメント			
オンデマンドの回のレスポンス・ペーパー、あるいは、対面型授業の回の討論によるインタラクティブな情報共有を通じての考察が、この授業の最も重要な部分です。これらを通じて、単に授業を「受講」するだけでなく、相互的な形で、さまざまなものの見方・考え方を授業参加者と共有し、それを今後の自らの生活実践へと生かしていくことができます。同じ事柄を見聞きした時に、他の人達がどう考えているのかを知りましょう。そのことが、自分だけで考えていた時と比べて、はるかに大きな力になります。この授業を充実させるために、聴講、レスポンス・ペーパーの記入、討論への参加を積極的に行うようにしてください。			

## 事前事後学習

### 事前学修

それぞれの回の授業内容を、講義資料として授業前日までにmanaboにアップロードしておきますので、各自、ダウンロードして次回の講義内容の概要を予習しておいてください。おおむね1時間程度かけて行うとよいでしょう。

### 事後学修

それぞれの回の授業についての意見・感想・要約等を、レスポンスペーパーとして書き、その回の授業の事後学修としてください。おおむね1時間くらいかけて行うとよいでしょう。

科目名(副題)		開講年次(セメスター)	単位	担当者名
インターネットを思索する 人文社会科学の観点からインターネットについて考える		2～4年次秋学期 (4・6・8セメスター)	2	松浦 明宏
授業計画				
No.	項目	内容		
1	イントロダクション	導入：テレビとインターネット（動画視聴）[対面型授業]		
2	メディアと印象操作（１）討論	グループディスカッション（メディアによる印象操作・洗脳）[対面型授業]		
3	メディアと印象操作（２）講義	GHQによる洗脳[オンデマンド型授業]		
4	SNSと炎上（１）討論	グループディスカッション（不適切投稿等）[対面型授業]		
5	SNSと炎上（２）講義	サイバーカスケード、エコーチェンバー、フィルターバブル[オンデマンド型授業]		
6	ゲームの功罪（１）討論	グループディスカッション（ゲームの功罪）[対面型授業]		
7	ゲームの功罪（２）講義	ゲーム依存と薬物依存 –やはり脳が壊れていた– [オンデマンド型授業]		
8	ひきこもり（１）動画視聴と討論	グループディスカッション（ひきこもり）[対面型授業]		
9	ひきこもり（２）講義	内的ひきこもりと外的ひきこもり –やまあらしのジレンマ– [オンデマンド型授業]		
10	他人は風景（１）討論	グループディスカッション（「電車の中でドライヤーを使って髪をセットする人」等）[対面型授業]		
11	他人は風景（２）講義	「他人は風景」、島宇宙化、対人知覚障害[オンデマンド型授業]		
12	オタク的感性（１）動画視聴と討論	グループディスカッション（「オタク道」についての動画視聴後、討論）[対面型授業]		
13	オタク的感性（２）講義	「おたく（オタク）」通史、オタクの定義[オンデマンド型授業]		
14	シミュラクルとAI（１）討論	グループディスカッション（ボーカロイド、Vtuber、AI）[対面型授業]		
15	シミュラクルとAI（２）講義、全体の総括	シミュラクルとAI、総括[対面型授業]		